

広報

# かわにし

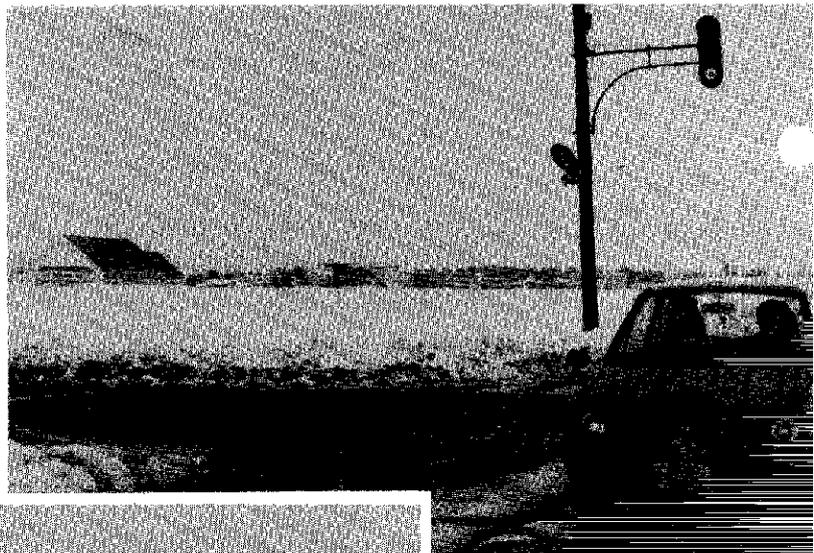
(毎月10日発行)

昭和59年 1/10 No.305

948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎0257-68-3111)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

人口の動き	
— 1月1日現在 —	
男	4,879 (±0)
女	4,976 (-1)
計	9,855 (-1)
世帯数	2,343 (-1)
( ) 前月比較	



## 写真説明

千手神社 (3日)	国道252と 幹線道路の 交差点 (3日)
仁田地内・ 熊野社付近 (3日)	越ヶ沢の たたずまい (3日)
	千手の 中央町 にて (2日)

昭和五十九年(一九八四)がスタートしました。  
この年をあなたはどんな年にしようとお考えですか。  
それぞれの目標に向かい、一歩一歩確実な歩みをしていきたいものです。  
正月二日、三日に撮影したスナップを載せてみました。

## 1月の休日救急医

15日	第二藤巻	医院	(上野)
16日	富田	医院	(神明町)
22日	中条	病院	(中条)
29日	大島	医院	(川原町)

## 2月上旬の予定

5日	山口	医院	(下条)
11日	至誠堂	医院	(西浦町)
12日	池田	医院	(本町西)

# 議会 報告

第九回町議会定例会が、先月十四日から二十二日までの九日間の会期で開かれました。主な議事としては、十四日が四氏による町政に対する一般質問と条例の改正。十五日から二十日までは休会。二十一日が五十七年度各会計決算認定。二十二日には第四次総合開発計画基本構想の策定や一般会計補正予算などが審議され、いずれも原案どおり可決されました。

定例会のあらましをお知らせします。

## 四氏が七件の一般質問

### 地下水対策と

#### 利雪問題

#### ◆上村広治議員

①地下水の利用対策について  
川西町での地下水対策は信濃川の水量が大いに関係していると思われる。町長は地下水対策と利雪問題を組み合わせた計画をどのようにお考えか。

②国鉄第五期発電所工事と水資源の確保について

第五期工事は未定であるが、川西町への地下水の影響を十分に研究し、資料を整えておく必要がある。町としての対応と長期的な水資源の確保についての取り組みは。

#### ◆南雲町長

①昭和五十五年通産省、五十六年県商工労働部の地下水資源の調査

結果によると、川西町は降雪量の多いことなどから豊富な地下水に恵まれている。しかし、近年の上水道や消雪水の増加によって、冬期間は特に地下水の低下傾向が顕著である。このことから、早急に地下水利用の適正化を図らなければならぬ。特に消雪用地下水の保全のため、積極的な対策を進める必要がある。として、

雪を利用した水資源の開発としては、(1)融雪水の地下浸透 (2)ダムに蓄える方法、(3)雪を長期間保存する方法、がある。

地下浸透は、排水路の舗装化などで難しくなっている。農家の協力を得て秋口からほ場に水を蓄えてもらい、浸透させる方法以外はさしあたりない。融雪水を蓄える施設を新設することは予算的に難しいので、規設の農業用ダムを有

効に利用したい。

農家のご理解をいただき、稲の刈り取り後からほ場に貯水を始め、降雪期の流雪などに利用することも検討してみる必要がある。

地下水には結びつかないが、利雪としてはスキー場の検討を進めたい。

長期的な水対策については、フランスや清津川ダムなどによって対応し、地下水利用は年々減少する方向に持っていく。

②五期工事は、宮中地内から毎秒百五十立方メートルの取水を行い、内径八メートルの導水管によって小千谷まで持っていく、新たに二十万キロワットアワターの発電所を建設したい。というもの。

川西町では信濃川の流量の減少と東部地域の山すそ七・五キロに布設される導水管が引き起こす現象への対応をしなければならぬ。国鉄に対して流量統計資料の提

出を求めているところである。それを見ないと信濃川の流量が変化するかどうかはつかめない。

直接影響を及ぼすのは導水管による地下水脈の分断と受け止めている。このことは町民の生活、あるいは生産活動に支障となる。後追い補償では間に合わない。

国鉄の調査結果を一つ一つ検討していく方法がよいと考えている。新発電所によって、国鉄も川西町も地域の住民も、みんながよかつたという結論がもたされるものでなければならぬと考えている。それが町民全体の願いであると受け止めている。その一つでも欠ければ認めるわけにはいかない。

### 主要道路の改良推進を

#### ◆登坂 茂議員

①主要地方道小千谷・川西・津南線の早期改良推進について

千手ずいどうの改修工事に引き続いて千手地区に向かって改修が進行されることを期待していたが、いまだ着手していない。川西町のどの元だけに問題である。千手の家屋連たん地域の改修とともに大事なことと思うが、道路計画はどうなっているか。

②国道404号線の改良促進について

岩瀬地内で特一改良がされている

るが、宅地造成地について町の協力を願えないか。大白倉・大倉間の改良防雪工事促進の見通しは。

#### ◆南雲町長

千手地内は第一次改良が終了した区間として取り扱われている。現在の交通量では第二次改良は難しい。

十日町地域分については特殊改良第一種を要望している。川西分は都市計画事業の街路事業が最も現実的という結論が出た。しかし、都市計画事業の導入ということになると、県道の改良ではないので、土地利用について住民のコンセンサスを得なければならぬ。モデル事業との競合の問題もある。

この路線は川西町の大動脈であるので、百年の大計として目標を誤らないよう、慎重かつ速やかな方針決定が必要である。

融雪雪屋根については財政事情の許すかぎり援助し推進させたい。新十日町橋の架橋は十日町市と提携して近々実現させたい。

②岩瀬の宅地造成については、いろいろな手段でお手伝いしている。大倉地内の防雪工事は昭和五十二年に計画が立てられ、延長六百メートルのうちの二百八十五メートルが完成した。ごく危険な箇所の段切りを重点的に行ってきた。五年以内くらいに除雪路線となるよう取り組んでいるところである。



町長 答弁する

### 松葉荘の

#### 運営方法は

##### ●小林寅雄議員

①地域休養施設松葉荘の運営について

設備が完備され、営業体制も整ったので、来年度から企業会計を設置し、運営に当たる考えが  
ありか。また、より安く、より良いサービスのもとで利用者に親しまれ愛される環境づくりを進め、経営基盤を確立するための方策は、

##### ②報償金の支出について

報償金の支出は広範多岐にわたっているが、いろいろな経緯の中で支給されている事柄が多いように見受けられる。その内容は、

##### ●南雲町長

①松葉荘は、皆さんからお気持ちを寄せていただき、当初の見通しを大きく上回る盛況を示している。二月以降の成績が正念場と考えている。収益性ということになると必ずしも上がっていないので研究課題となる。

営業の実態を明らかにするには、態勢を整えなければならないが、職員を増員によって補うということとは避けたい。

五十九年度は普通会計方式で特別会計を設定して処理し、六十年  
度から地方公営企業法の適用を受ける会計処理としていきたい。

経営の安定向上のため営業活動にますます力を注ぐよう指摘されているが、そのように対処して

##### ●南雲助役

②選挙事務についての報償費を、管理職手当を受けている人に対して支出するのはどういふものか、という指摘であるが原則的にはそれのとおり。県下の状況を調べたが、選挙事務についてはどこも同じような方式である。県の地方課に照会したところ、条例によって管理職手当が支給されている場合は、超過勤務手当に見合うものは支給すべきではないという見解である。しかし、県下の状況から、完全に打ち切りをするような指導はしていないとのこと。

管理職については選挙事務の委嘱をしないという方法を取ればスツキリする。しかし、選挙事務は全職員を上げての臨時的な大きな仕事だから、公平に責務を負担するという原則で今までやってきた。郡市内はもちろん県下の状況等をよく調査した上で処理をしたい。報償費の中にはいろいろな形がある。原稿買上料は労作に対するものであり、報償費から支出する  
しかないが、説明欄に謝礼金とでも記入すればよい。  
保管人手当などは身分を拘束する  
というような精神的な負担があ

る。これも説明欄に謝礼金と記入すればスツキリする。

作業員報償金は、年間を通してかなりの日数造林作業に従事して  
くださっている人にボーナス的な意味で支払っている。

### 市街地の

#### 豪雪対策は

##### ●戸田哲次議員

①市街地の豪雪対策について  
川西町は、特別豪雪地帯として指定されて以来、他の町村に先駆けて種々の事業を進んで受け入れ、モデル的な存在として発展してきた。しかし、市街地の豪雪対策は一般的な施策しか行われておらず、深井戸による消雪に頼る現状で、

### 条例の改正

▽川西町職員の給与に関する条例の一部改正  
給料表などの改正がありました。

給料の平均引き上げ額は三千三百七十六円、改定率は二・〇五パーセントです。

▽国民健康保険診療所条例の一部改正  
運営委員会に委員長を置くことになりました。

先般、登坂茂さんが委員長に選出されています。

すでに町内の中央地帯では水源の枯渇によって消雪機能が低下している場所がある。

都市計画法の導入によりメインの市街地の拡幅整備と併せて流雪溝を整備することを提言するが、町長の所信を伺いたい。

##### ●南雲町長

①豪雪に耐え、これを合理的に克服することが、地域住民の冬期生活を確保し、あるいは産業進行を  
図る源動力となるので、町政の基本的な課題として取り組む。

県道の改良は現時点では都市計画法の指定を受けて施行をしていくことがいざいざ現実的である。しかし、都市計画法はモデル事業との競合など、いろいろな問題が

▽農業共済条例の一部改正  
家畜共済などの一部改正です。施行は県知事の認可のあった日からになります。

### 専決事項の承認

▽五十八年度一般会計補正予算(専決第七号)

三百二十九万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ二十八億五千八百七十七万八千円としました。衆議院の解散による総選挙の管理執行に当たって予算補正が必要となったことによるものです。

山積してくる。モデル事業の予算配分が少ないので、他の事業でやれるものについては整理をしたい。

千手地域の県道改良が問題である。本来都市計画事業は市町村営の事業となる。しかし、対象が県道なので、県から実際にはやってみよう方法がとれる。事業費の八パーセントの地元負担が伴うという難しい問題もある。

流雪溝の整備は県道の改良工事の中に包含をしていかなければと考えている。十分な水源を確保して相当な豪雪時にも備えるということと、流末で支障なく信濃川に流すことができる流雪溝の整備を県道改良より先行させなければならぬ。これからの大きな課題として取り組む必要がある。

歳入は全額県支出金で総選挙費委託金として入ります。

### 集落下水道処理場 く体工事請負契約 の変更

モデル事業で下平地内に建設する下水道処理場く体工事の契約金額を四千万円から四千二百五十四万四千円に変更することが可決されました。

一月末には完成の予定です。

(議会報告次ページへ)

# 57年度決算を認定 繰越総額は 1億1,127万円

57年度の各会計決算が別表のとおり認定されました。

一般会計は6,823万円の黒字です。  
特別会計でも4,304万円の黒字が出ました。  
中でも農業共済事業では、作況指数が112と  
いうように米が大豊作だったため共済金の支  
払いがわずかで、3,850万円近い黒字となっ  
ています。

総額では1億1,127万円余りが翌年度に繰  
り越されました。

## 57年度各会計の決算状況 単位：円

会計区分	歳入	歳出	差引額	
一般会計	2,909,783,792	2,841,550,019	68,233,773	
特別会計	国民健康保険	482,545,435	477,176,472	5,368,963
	国保診療所	82,960,984	81,087,079	1,873,905
	仙田へき地出張診療所	20,068,126	26,077,271	△6,009,145
	歯科診療所	31,611,854	31,611,854	0
	老人保健	30,123,000	27,978,777	2,144,223
	農業共済事業	75,598,441	37,098,476	38,499,965
	簡易水道事業	52,252,374	51,089,983	1,162,391
合計	3,684,944,006	3,573,669,931	111,274,075	

国鉄の山野田宿舎用地の一部を町が取得することになりました。

## 山野田地内の 国鉄用地を取得

▽五十八年度一般会計補正予算  
(第四号)

第四次総合開発計画の答申が先月十六日に行われました。これの基本構想の策定について審議が行われ、原案どおり可決されました。

基本構想は、昭和七十年の「町のあるべき姿」を示し、これを達成するために必要な施策の大綱を掲げたものです。

## 補正予算関係

取得の目的は、公園、運動広場用地の確保、それと十日町地域土地開発公社による宅地造成用地として譲渡するためです。面積は九千二百四十平方メートル余、売買価格は六千八百万円で、三月十日までに支払います。

# 第四次総合開発計画 基本構想の策定を可決 議会報告

既定の予算に千七百八十七万七千円を追加し、総額は歳入歳出それぞれ二十八億六千九百六十五万五千円となりました。

歳入では、普通交付税が千三百三十二万二千円、不動産売却収入が三千四百二十万九千九百円、それに図書購入費寄付金の一千万円、などの増が目立ち、減ったものにはモデル事業費補助金の千六百二十六万円などがあります。町債はモデル事業債と橋小改築事業債とで合わせて千三百八十万円減額しました。歳出のほうで増えたものは、図書購入関係が千三百万円、国鉄用

地購入費が三千四百二十万九千円などです。逆に減額されたものには、モデル事業の工事請負費が二千三百万円、橋小学校改築工事関係が千四百二十二万四千円などとなっています。

総額は歳入歳出それぞれ二千六百七十九万一千円となりました。こちらも診療収入を総務費にそっくり充てています。

▽五十八年度国民健康保険特別会計補正予算(第一号)  
予算総額の四億三千三十二万二千円は増減せず、総務費の不足分十八万円を予備費から回したものです。

▽五十八年度簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)  
こちらは三十六万六千円を減額し、歳入歳出予算をそれぞれ五千三百三十三万四千円としました。歳入では水道使用料の減額、歳出では維持管理費の減額が主なものです。

▽五十八年度国民健康保険診療所特別会計補正予算  
六十五万六千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ八千六百六十四万七千円としました。診療収入を六十五万六千円増やし、総務費に回しています。

▽五十八年度仙田へき地出張診療所特別会計補正予算(第一号)  
二十四万七千円を追加し、予算

雪害対策特別委員会では、付託のあった「雪害対策について」の中間報告をしました。

これが可決され、発議案第一号「雪害対策の強化に関する決議について」として審議され、

## 雪害対策の強化を決議

- ① 道路の無雪化の推進、② 雪捨て場の確保、③ 自然落下式屋根の安全対策、④ 融雪式屋根の普及奨励、⑤ 豪雪時における臨時駐車場の確保、などが細かくまとめられ

前述の五項目が決議文としてまとめられ、十二月二十二日付で町長に提出されました。

# 新年のごあいさつ

町長 南雲春雄

明けましておめでとうございます。昭和五十九年のさわやかな新春を迎え、皆様のご健康とご繁栄を心からお祈り申し上げます。皆様には、日ごろ町勢の伸展に特段のご協力をいただいておりますことを厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は前町長根津正三さんの急逝という悲しい出来事がありました。根津さんは約十六年の長きにわたり、文字どおり粉骨碎身、町勢の発展と住民福祉の向上のために努力されました。またその高潔なお人柄とご功績の数々は、皆様すでに十分ご高承のとおり

りであります。

不肖、私は皆様の温かいご支援をいただき、根津さんの後任として町政をお預りすることになりました。もとより微力でございますので、皆様の格別のご指導ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



町では、去る十二月十六日に第四次総合開発計画の答

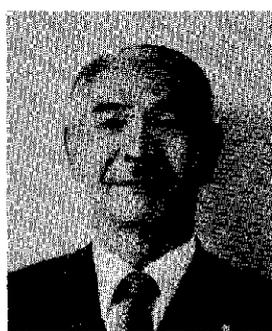
申を受けました。昭和七十年における町の「あるべき姿」を想定して、これを達成するに必要な施策のあらましが示されており、この「あるべき姿」として、町村合併二十五

## 町民の信託に応える

議会議長 小川清次

昭和五十九年の年頭に当たり、一万町民のご健康とご多幸を心からお祈りいたします。光陰矢のごとしと申します。慌ただしかった五十八年は、実に矢のごとく過ぎ去りましたが、私たちの川西町では幸いな年であったとは決して申されなかったと思います。忘れようとしても忘れることのできないのは、五月二十二日に根津前町長が急逝されたことです。あの時は全町民等しくただただぼう然とするばかりでした。

しかしながら、不幸中の幸とでも申しますか、全町民の全幅のご支持を得た第三代・南



雲川西町長の誕生を見ることができました。南雲町長は、前町長の意志を継承されまして、町行政を順調に進ちよくしておられます。一時空席になっていました助役・収入役・

教育長とも、南雲町長の選任について同意を求め、議会は十一月の臨時会で満

周年を記念して制定されました「川西町民憲章」の本文五行をもって表現しております。さらに、町づくりの方向として、高齢化社会に対応しながら、過疎化に歯止めをかけ、人口の増える町にしたいとされています。つまり、町の恵まれた自然や、整備された農業基盤を生かすとともに、雪を克服して明るい生活環境を整える方向に進むよう求めております。

具体的事項は省略いたしますが、私は、この答申を今後の行財政運営の指針として受け止め、誠心誠意、実行に移したいと決意を新たにいたしております。

当面する地方財政は、非常に厳しい状況にあります。このような時代こそ優先劣後の適正な判断に立って、公平を旨として運営するよう、自らを戒めております。

何とぞよろしくお願い申し上げます。

対応するものとするため、補正改定を行う審議をしておりますが、五十八年度もその年に当たりました。第四次総合開発計画の審議委員

は、各界各層から三十四人が委嘱され、八月十日に南雲町長から諮問を受けました。審議

会には三部会に分かれ、数回にわたり慎重に審議を行い、十二月十六日に最終的の審議会を開催し、南雲町長に答申しました。基本計画

には、向こう四年間の町行政の指針が掲げられております。南雲町長は答申を受けた際に、「答申を尊重し、五十九年度予算に反映させていきたい」と申されました。

私たち川西町議会の議員といたしましては、新年を迎え気構えを新たに、町発展のため、町政の諸問題と方向づけを慎重に審議して町民の信託に応え、ご期待に添うべく努力する決意であります。

## ねんきんふくし 役立っています 皆さんの保険料

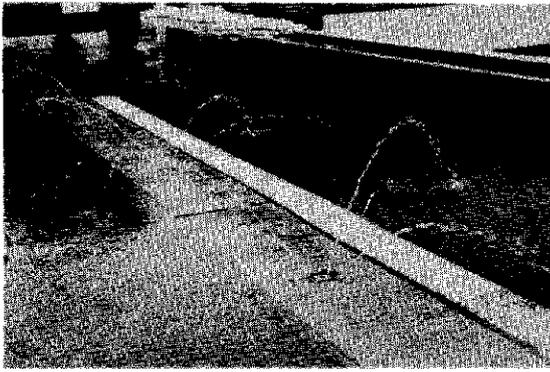
皆さんは、公共施設の玄関口で「年金積立金還元融資施設」と書かれた標示を見かけたことがありませんか。この標示は、国民年金や厚生年金などの保険料の積立金によって建設された施設であることを表しているものです。

川西町では、橋簡易水道や千手保育園、それに康塚運動場などにこの標示があります。五十八年度にこの年金積立金還元融資（特別地方債）を利用したのもとしては、上水道第二次拡張事業（田戸、中仙田、赤谷簡易水道の上水道統合）があります。

皆さんの納める保険料は、将来、年金を支払うときのための財源として、大蔵省の資金運用部に預けられます。預けられた保険料は、現在支払われている年金に充てられたり、国の財政投融資の一環として、国民生活の安定向上に役立つような施設の整備に充てられています。

そして、直接国民年金の加入者や、その家族などの福祉増進、健康の保持に貢献するため、「還元融資分」として配分され、住宅、保育所、老人福祉センター、病院、体育館、国民保養センターなどの施設整備のために融資されています。

皆さんの納める保険料は、いろいろなところに役立っています。



# 中魚沼地域 水資源対策協 広報PR事業

## 消雪パイプ

## 有効利用と 節水のために

中魚沼地域水資源対策協議会（十日町市、津南町、川西町、中里村の四市町村で構成。会長十日町市長）は、昭和五十五年に行われた東京通産局の「中魚沼地域地下水利用適正化調査」を基点に、中魚沼の地下水益（地下水の入っている器という意味）の限られた水を有効かつ適正に利用するために、昭和五十七年三月に設立された組織です。

地下水位観測や実態調査など水資源の適正利用の推進の事業を実施していますが、初めての試みとして、各市町村の広報紙による共通のPR事業——「消雪パイプの有効利用と節水」というテーマで地域住民の皆さんに呼びかけています。

「水はいのち」地下水が貴重で有限であることは、いまさらいうまでもないことです。

これを有効に使うか使わないかは中魚沼地域全体だけの問題ではなく、日本の国全体の問題であるといっても言い過ぎではありません。

こうした視点の中で、節水できるものは必ずそれをしなければなりません。中魚沼地域の昭和五十五年東京通産局の「地下水利用適正化調査」の報告によると、当地域の一日の地下水揚水量は、平均二十五万トンといわれています。

また、このほとんどが冬期間にくみ上げられ、貴重な資源は、だんだん減りつつあります。

今回は、冬期間皆さんの足の確保に活躍する消雪パイプにスポットを当て、次の四つの点を中心に、消雪用水の節水について考えてみたいと思います。

何気なしに使っている水——あなたも水がなければ生きていられないのですよ！

### ① 必要時のみ 散水しましょう

現在は「降雪自動検知器」というものがあり、それが設置してあるところがないうちが降っていますが、雪が降っていないときでも消雪パイプを稼働させているところもあります。

不必要な時に稼働させないことが、節水の第一条件です。

さらに、そういったものを見か

けたときは、お互いに注意したいものです。

### ② 散水量を 減らそう

雪が降り始めて積もるまでには時間がかかります。その状況を見てスイッチを断続すれば節水の効果は上がります。

さらにその使用水量も、一本の井戸による揚水量は、毎分〇・五〜〇・八トンで、延長三百メートルの路面消雪が可能なのです。（〇・八トンは、ドラム缶に四本です）

## 消雪パイプ一〇メモ

### 現況

消パイが生まれたのは昭和三十八年で、長岡市の国道に布設されたのが始まりです。以来雪国各地で普及し、冬の交通確保に大きく貢献していることは、皆さんご存じのとおりです。

当地域内の深井戸の本数は約八百本、うち九〇パーセントが消雪用水に利用されています。しかしこの克雪に最大の武器といわれた消パイも水位低下により機能しなくなったのが出始めています。

### 長所と短所

それでは消パイの長所、短所を考えてみましょう。

#### 〔長所〕

- (1) 除雪機械と比較して交通障害、路面損傷なし
- (2) 人間の操作が少ない省力化除雪等

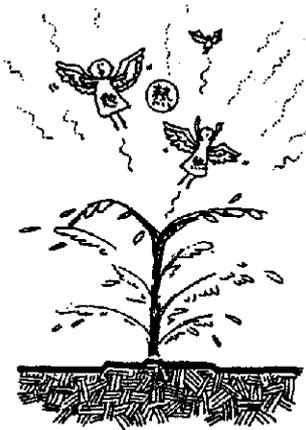
#### 〔短所〕

- (1) 舗装の損耗が大きい
  - (2) 自動車による雪水のはね上げが通行者にかかる
  - (3) 過剰用水で地下水障害を起す
- 等の点があります。



### ③ 水を低く出せば 雪は消える

昨年十一月の初雪のときもそうでしたが、消パイの水を高く出し過ぎて人に迷惑をかけている道路がありました。水を多く高く出したから雪がいつばい消える」ということにはならないのです。それは高くすることにより、地下水のもつ熱カロリが空中で分散し、効果は正反対になります。



「散水の高さを低くすること」これも大きな節水のための方法であることを理解してください。

### ④ 出しっぱなしでは 無駄

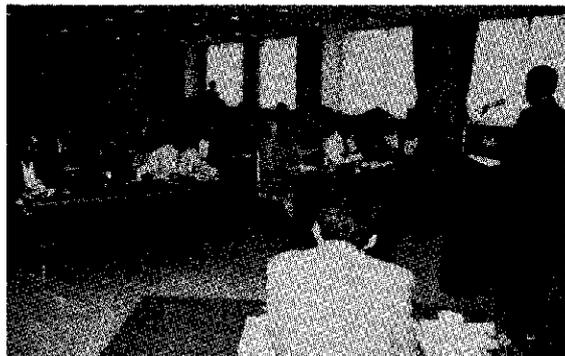
消雪パイプは地下水の熱が雪に伝わり、うまく水と雪がかき混ざってより効果があるものです。特に道路以外の消雪については、出しっぱなしにし

ないで、雪と水をミックスする方が講じられていないと無駄も多



## シンポジウム 融消雪方法と地下水

中魚沼地域水資源対策協議会・十日町市地下水利用対策協議会



郡市内から130人が参加

### 節水は電気料の低減に

中魚沼地域内の国・県・市町村道の消雪パイプの電気料は昨冬（昭和五十七年度）の決算実績からみると、驚くことに、ひと冬で約九千五百万円もかかっています。

降雪自動検知の設置してあるところと未設置のところを比較してみると、一メートル当たり要した電気料を計算した場合未設置のところは七百二十五円、設置してあるところが六百十八円と明らかな差が生じています。このように降雪感知器に例を

とっても明らかのように、節水をするのが、いかに効果があるかがお分かりのことと思えます。もちろん、消雪パイプの有効利用のみというのではなく、地下水の節水することは、地域全体の発展につながることを地域住民みんなで見つめ直してみたいものです。

り効果のある水利用が可能であるかを考えるための研究会です。県内では初めての開催でもありましたが、その内容を研究報告のシステム内容を中心しながらお知らせします。

たり、他の場所に散水することも可能。

十日町市の共催によるシンポジウム「融消雪方法と地下水」有効利用のための方法研究が、先月三日の午前九時から十日町市・クロス10で開催されました。

### 熱交換方式・散水融雪システム

外部の熱源を用いず、井戸水の持っている熱を最大限に利用する方法。揚水用と還元用の井戸二本が必要。揚水した井戸水を熱交換器で熱吸収をする。その熱で散水する水（河川水）の温度を上昇させて散水する。地下水温は十二度前後であるから熱交換器の伝熱効率を向上させれば、地下水毎分五百リットルを使って同量の零度の河川水を八度以上に加温することもできる。すでに確立された消パイの技術を利用できることと熱源の組み合わせにより応用範囲も広がる。

### ヒートポンプ式無散水融雪システム

ヒートポンプで温水温度を四十度以上に高め、積雪が生じたら、循環ポンプを稼動（自動・手動制御）させて融雪面に埋設したパイプに循環させてやり雪を融かす。循環して戻ってくる温水は温度が低下しているが、サーモスタットの設定温度より低下するとヒートポンプが稼動し、再び上昇する。熱源としては、井戸水を使用。吸熱後の井戸水は、排水かまたは地下に還元する。補助的に散水し

地下水への依存が大きな割合を占める当地域で、特に問題とされている消雪用水。地下水問題は、この消雪用水の問題を避けて通ることはできません。今回開催されたシンポジウムは、地下水保全、かん養という大きな目的において、ただ散水しっぱなしの消雪パイプに代わる方法には、どんなものがあり、またその中で当地域にどんな方法が適し、安いコストで、よ

（次ページへ）

シンポジウム

融雪方法と地下水

(前ページから)

### 無散水システム

舗装体の中に放熱管を埋設し、

この中に地下水を送って、地下水の持つエネルギーを効率よく路面に伝え、積もった雪や車道から除雪された堆雪を融かし、同時に路面の凍結も防ぐ消雪方法。揚水用と還元用の井戸二本を使い、夏は地下水を逆循環させて蓄熱の機能も可能。

熱だけを路面に伝えて雪を融かし、温度の下がった地下水は外気

## 中魚沼地域水資源対策協 広報PR事業

に融れることなく注入井(還元井)より地下に再び戻されるシステムである。

### 温水循環による

#### ロードヒーティング

舗装路盤にタフコンパイプ(特殊ナイロン樹脂使用)という放熱管の配管による温水循環システム。伝熱により路面を昇温させ融雪する。熱交換器に蒸気や温水ボイラーを用い循環する。温水には専用液を上水で薄めたものを使う。ま

たパイプも柔軟性があり、アスファルト、コンクリート、床など材質を選ばないことも特徴である。ランニングコストの低さ、融雪能力の高い点から、高速道路料金所や駐車場等に布設されている例もある。

以上四つのシステムの研究報告があり、続いて、野原以左武さん(長岡雪害実験研究所第三室長)の研究報告のまとめと講演が行われました。最後の質疑応答には、やはりコストの問題、当地域に照らし合わせたときの各システムのメリット、デメリット等の問題、還元による水質汚濁の問題等が討議されました。

## 地盤沈下が 起きてからでは遅い 地下水対策

地下水問題の中でいちばん難しいことは、直接目に触れることができないことです。しかし、水位低下、枯渇、そして地盤沈下といった障害は、当地域全体の問題となります。現在、地盤沈下は、当地域には、まだありませんが……。

これが起きてからでは、地下水対策はもう遅いのです。

# 町史コーナー

## お伊勢詣り

に、ミノ笠や桐油合羽・ウスカケ・ワラジの身仕度で長旅を歩いた人たちの苦勞がしのばれる。伊勢講の場合を例にとると、出立の日付全講員が宿に集まり、天照皇大神の掛軸を床の間に掲げて礼拝し、旅立つ人を正座に据えて宴を催し、全員が村境まで見送って道中の無病息災を祈った。

伊勢平治村の星名清吉(善雄氏の曾祖父)が、明治二十三年(一八九〇)に書き留めた参宮日記は、当時の行程をあらましかつのように知ることができて貴重である。

「伊勢詣り」は、昔の家長たちにとつて一生に一度の宿願であった。道中が長いのでたいそうな路銀が必要であり、この金を調達するための手段として、一家の戸主や友人同志、ヒトツトシなどが相寄って伊勢講や参宮の会を組織した。共同出資で講銭(旅費)を積み立て、クジや順番で、あるいは仲間がそろって、念願の伊勢参宮に出かけたのである。

すべてを足に頼る上方詣りは、出発から帰宅までに早くて一か月はかかり、出たついでによその景色を眺めてくることにでもなると、二か月もの長い期間が必要であった。川西地方の伊勢詣りが、ほとんどといってもよいくらい真冬か春先に行われてきたのは、農繁期をさけて冬仕事に出かけたためであろう。アノラックや長靴のなかった時代

三月三日出立、晴、割野村綿屋泊り。四日晴、飯山小川屋泊り。五日荒れ、豊野ヲ出、汽車ヲ善光寺着、参詣シ同町泊り。六日丹波島ヲ越へ、姥捨山ヲ懸ケ、此之駅真田屋泊り。七日晴、浅間ニ泊リ入湯。八日晴、桜沢ノ橋ヲ渡リ新川宿ニ泊ル。九日晴、鳥居峠ヲ越へ、藪原沢ヲ過ギ、木曾の掛橋ヲ名物あんころ餅ヲ食ス。十日雨、ねさめ、浦島太郎跡を見物、上ケ松沢ニ止宿。十一日雨、正午時分大雨、みどの沢ニ泊ル。十二日晴、孫目落合園境ヲ越へ田中屋ニ止宿、一行ノ内三名ハ坂下ニ泊リ、外四名ハ馬車ヲ名古屋ヘ行ク。十三日雨、大風、名古屋ヲ待合せ、御城等見物シ同町に泊ル。十四



「明るい選挙」の呼びかけ

第三十七回衆議院議員総選挙は、旧ろう十八日に投票が行われ、川西町では役場の議場で即日開票をしました。

川西町選挙管理委員会が発表した選挙結果は次のとおりです。

### 衆議院議員総選挙

#### 川西町の結果

##### ◆選挙当日の有権者数

男.....三、四八五人

女.....三、七二六人

計.....七、二〇一人

##### ◆投票者数

男.....二、八六〇人

女.....三、二〇一人

計.....六、〇六一人

##### ◆投票率

男.....八二・一七%

女.....八六・一四%

計.....八四・一七%

##### ◆投票総数のうち

有効投票.....五、九九五票

無効投票.....六六票

##### ◆候補者別得票数(一) 四区結果

今回の総選挙の投票率は、全国平均六七・九四%で史上最低を記録してしまいました。新潟県は七八・八四%です。四区の投票率の平均は七七・八四%となっています。川西町はどの選挙でも高い投票率を示しますが、今回は四区二十六市町村のうち、能生町、大島村、名立町に次いで四番目になりました。

## 第四次総合開発計画の答申



答申書が小川会長から町長へ

町の将来像を描く第4次川西町総合開発計画の答申が、先月16日に総合センターで行われました。

川西町では、昭和44年から3次にわたって総合開発計画を策定し、行財政運営の指針として町政を進めてきました。

第4次計画は、昭和70年の「町のあるべき姿」と、これを達成するために必要な施策が掲げられています。

59年度からの町政に反映されることになります。

いずれ機会をみて、この計画の概要を皆さんにお知らせする予定です。

- 木島喜兵衛 一、四九二票(五三、五二七)
- 佐藤 節夫 五七票(二三、二四〇)
- 須藤友三郎 八四票(七、二〇〇)
- 白川 勝彦 二、六一〇票(五四、五二二)
- 高島 修 一、七五二票(八九、三六六)

日小舟で桑名へ上り、四日市ヨリ汽船で伊勢神社港へ着き止宿。十五日午後雨、二見浦参詣、伊勢の古市両国屋ニ止宿。十六日晴、風アリ、外宮・内宮参詣、太々神楽・宝物等ヲ見、市中で買物、両国屋ニ再泊。

十七日晴、伊勢ヲ出立、松坂沢ヲ過ギ六軒ニテ昼飯、拙者少々腹痛ニテ玉子酒等相用ユ、午後馬デ中野村ニ至リ泊ル。十八日晴、三本松ニ泊ル。十九日雨、長谷寺観音・みやの明神参詣、名物そば・そうめんヲ食ス、奈良ノ榊屋ニ泊ル。廿日晴、奈良見物シ、郡山ヲ過ギ立田ニ泊ル。廿一日雨、多武峰<sup>不詳</sup>葉屋泊リ。

午後雨、松任駅清金屋ニ泊ル。五日金沢市中、御城見物、竹橋村泊リ。六日晴夕方雨、富山本町ニ泊ル。七日黒部川橋ヲ渡リ、入善村ニ泊ル。八日晴、越後地へ入り鍛冶屋敷ニ泊ル。九日晴、五智ヲ経、直江津ヨリ汽船デ高田へ出テ止宿。十日御城見物、買物等ニテ同所ニ泊。十一日晴、方丈寺峠ヲ越へ、安塚・大島・室野ヲ経、松代泊リ。十二日大雨、名ヶ山へ迎へノ人來ル、山谷デ昼食、酒等アリ、一同目出度く帰宅。

廿二日大雨、吉野参詣、五条泊リ。廿三日雨、高野山へ登リ、御札ヲ受ケ玉屋泊リ。廿四日雨、早朝吉野川ヲ渡リ、みつ村ニ泊ル。廿五日晴、住吉・大坂・天王寺参詣、大坂川口ヨリ汽船ニ乗り、廿六日正午多戸津へ止リ、金尾羅様参詣、同町ニ泊ル。廿七日晴、多戸津ヨリ汽船ニ乗り、廿八日朝大坂川口へ上リ、備前屋ニ泊ル。廿九日晴、大坂ヲ出立、やわた八幡様参詣、淀町ニ泊ル。三十日晴、京都見物、三条通り備前屋ニ泊ル。卅一日雨、前日ニ続キ京都ノ名所見物。

帰参の時は、前記のように村の近くまで出迎え、宿に着くと神札やみやげが講中や会員一同に配られた。日を改めて「上方振舞」が行われた。酒盛りがたけなわになると、本場仕込みの伊勢首頭や伊勢踊りが披露され、ときには神楽も舞って宴は遅くまで続いた。

四月一日西条出立、汽船デ越前金ヶ崎へ着キ止宿。二日雨、新道・トンネルを通リ平野屋泊リ。三日晴、牛の谷泊リ。四日

伊勢講や参宮の会などへの参加は、もともと個人の信仰に基づいて自由であるべきなのに、川西の村々では昔からなれば義務的な観念にまで高まっていたようである。せめて一家を代表する家長だけでも伊勢詣りをという気風が受け継がれてきたのは、信仰心の厚い町民性に加えて、上方詣りの魅力がいかに大きかったかを示したものと見える。

# 町の家計簿

[57年度一般会計決算]

## 主な歳出

単位：千円 ( ) 内構成比%

議会費	44,661 (1.6)	労働費	501 (-)
<b>総務費</b>	<b>323,303 (11.4)</b>		
▶基金積立金	5,230	▶冬期孤立集落機能維持管理センター工事	12,965
	8,450		
<b>民生費</b>	<b>295,832 (10.4)</b>		
▶あかね会補助金	7,540	▶国民年金印紙購買基金繰出金	9,000
▶医療費扶助	64,146	▶児童手当扶助	18,560
<b>衛生費</b>	<b>174,312 (6.1)</b>		
▶衛生施設組合負担金	44,607	▶水道事業会計補助金	6,722
▶水道事業会計繰出金	37,000	▶簡易水道事業会計繰出金	20,500
▶歯科診会計繰出金	9,296	▶へき診会計繰出金	6,537
▶各種検診等委託料	5,581		
<b>農林水産業費</b>	<b>563,029 (19.8)</b>		
▶新農業構造改善事業費補助金	28,458	▶集落排水施設整備工事	82,520
▶農道整備工事	16,418	▶フラッシュ施設整備工事	5,070
▶地域休養施設設計管理、地質調査等委託料	9,450	▶同本体工事	89,750
▶同設備工事	41,900	▶同電気工事	12,107
▶同その他工事	7,190	▶同原材料費	11,310
▶同取水工事負担金	12,603	▶立木伐採補償料	6,625
▶減債基金積立金	8,212	▶林道峰方線開設工事	20,040
▶造林作業員賃金	33,814	▶杉苗代	7,249
<b>商工費</b>	<b>32,675 (1.2)</b>		
▶地方産業育成資金貸付金	12,000	▶同県償還金	6,081
<b>土木費</b>	<b>251,503 (8.9)</b>		
▶国県道工事費負担金	21,493	▶道路台帳作成	5,800
▶町道補修等工事	7,052	▶舗装工事	51,814
▶改良舗装工事	43,967	▶防雪対策工事	20,049
▶特改四種工事	13,950	▶道路除雪費光熱水費	18,591
▶道路除雪委託料	7,974		
<b>消防費</b>	<b>95,114 (3.3)</b>		
▶広域事務組合負担金	93,252		
<b>教育費</b>	<b>603,748 (21.2)</b>		
▶住宅購入費	18,650	▶備品購入	6,727
▶スクールバス委託料	6,161	▶川西中学校舎改築工事設計管理等委託料	9,294
▶同本体工事	176,840	▶同給排水暖房設備工事	53,800
▶同電気工事	34,400	▶南校舎改造工事	25,530
▶庚塚運動場照明施設工事	43,000		
<b>災害復旧費</b>	<b>73,870 (2.6)</b>		
▶農地農業用施設	43件 40,962	▶公共土木施設	16件 19,780
<b>公債費</b>	<b>335,776 (11.8)</b>	▶元金・利子	
▶諸支出金	47,226 (1.7)	▶中子用地外	

昭和五十七年度の各会計決算がまとまりました。今回は、一般会計決算の概要をお知らせします。歳入歳出差引額は六千八百二十三万円余の黒字です。

決算額を前年度と比べると、歳入で七・六%、歳出では七・四%伸びています。

歳入の状況は、町税が八・一%と順調な伸びを示しました。地方交付税の伸びは七・八%、歳入に占める割合は四〇・七%です。国庫支出金は川西中の改築があり、四一・三%も伸びました。県支出金は一五・二%の減です。これは前年度に災害復旧や民俗資料館建設などで多くの支出金を得ていたためです。町債も二八・九%伸びましたが、これも川西中の改築が主な理由となっています。

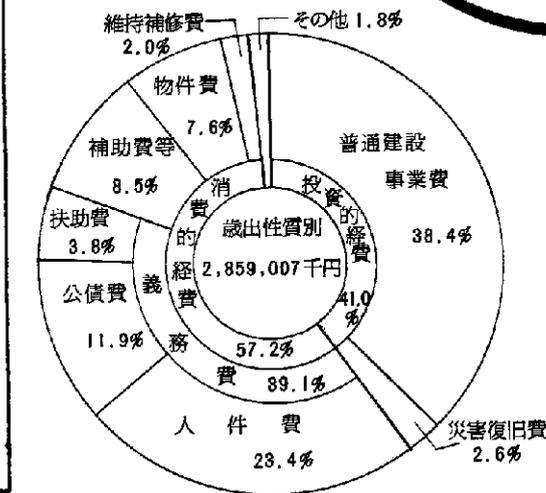
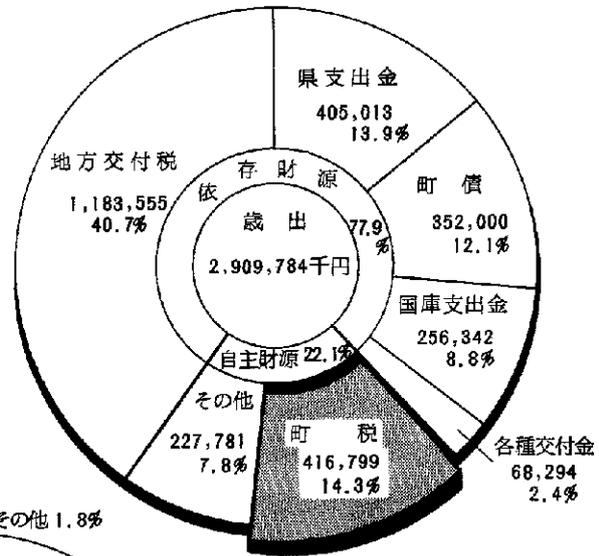
歳出のほうでは、教育費が川西

中の改築や庚塚運動場のナイター施設などで六一・九%と高い伸び率を示しています。衛生費は一般会計への繰出金が増え七・二%の伸びとなりました。逆に前年度を下回ったものには災害復旧費や総務費などがあります。災害復旧費の四五・八%の減は、前年度が融雪災害の復旧で四五・二%も伸びていたため、平常時に戻った形です。

県内市町村の一般的な傾向としては、公共事業の厳しい抑制基調から、投資的経費は平均で前年度より四・一%減少していますが、川西町の場合は約一八%の伸びとなっています。反面、町債の発行額は二九%の増(県内平均は四%の減)となりました。しかし五十七年度も減債基金へ八百五十八万八千円の積み立てを行うなど、計画的な財政運営に努力しています。

57年度 一般会計

歳入	2,909,783,792円
歳出	2,841,550,019円
差引黒字	68,233,773円



町民1人当たりの税金

町民税	14,670円
固定資産税	21,979円
軽自動車税	749円
たばこ消費税	2,725円
電気税	1,886円
木材引取税	28円
特別土地保有税	47円
合計	42,084円

# ひろば

7日午前9時現在の積雪は、分遣所で185cm、川西ダムで215cmです。56豪雪の時以来の積雪量となっています。雪による事故にはくれぐれもご注意ください。雪を利用するアイデアがいろいろあります。雪に振り回されているばかりではなりませんから——。

## 太田光之さん

### 人命救助で表彰される

太田光之さん(高原田)は、先月十二日に十日町警察署長から人命救助表彰されました。

太田さんは、昨年九月三十日、台風10号によって起きた十日町橋上流の堤防決壊現場で、復旧作業



高地署長から表彰される太田さん

「十日町橋の上で人が流されるのを見かけ、急いで川下の堤防へ行き、近くにあったロープを投げました。水の中ではヘルメットが障害になります」と太田さん。

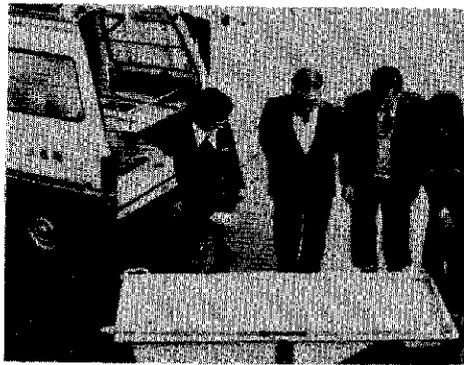
## 入浴専用車のプレゼント

### 24時間テレビチャリティー委員会(日本テレビ)では、先月九日に町へ入浴専用車(軽)をプレゼントされました。

当日は、テレビ新潟の人たちが役場を訪れ、助役にキーを手渡し

ました。

この車には、全国の皆さんの温かい善意が込められています。町では雪消えを待って、入浴専用車としての活用を図ります。



入浴車としては雪消えを待って

## ゲーム大会に

### 参加しませんか

◎仙田地区将棋、マージャン大会

●とき 一月十六日(日)

●ところ 午前九時から

将棋・中仙田公民館  
マージャン・克雪センター

◎橋地区囲碁大会

●とき 一月十六日(日)

●ところ 午前九時から

橋出張所

◎町民百人一首大会

●とき 一月二十二日(日)

●ところ 午前十時から

総合センター

## わしの自慢

### 「七抱石の木像」

中仙田

小林 仲治さん

小林さんは、置物や盆栽作り、それに石の収集など、自然に親しむ多くの趣味をお持ちである。

「七抱石の木像」は、昨年七月に月見荘で行われた老人作品展に出品されていたので、ご覧になった方も多と思う。

「信濃川(上新井地内)から十五、六年前に拾ってきた流木でして桐の根っこです。太りながら石を抱いていったものと思います。かなり苦労して伸

びた根です。ねエ」

前に二つ、後ろに五つの石が入っていて、高さが八十センチ、目方は三キロぐらいいである。仏像に似ているので「七抱石の木像」と呼んでいるとのこと。背中の部分には十センチほどの碎石が表面に出ている。

「清津峡あたりの石と聞いてます。あちらは桐の木も多いしねエ。ほかのものは普通の砂利です」

五十七年の冬に、それまではおっておいたものを持ち出し、完成させたとのこと。

「それまでは忙しくてかまっていられませんでした。拾ったままの形でして、焼いて磨いてニスを塗っただけです。自然な味がいいです。エ」

台にはケンポの木を使っている。ほかにもサルノコシカケをタモの木に植えたものや杉のマサリを仕上げたものが床に飾ってあった。

「なんでも見つけておけば、いつかは仕上げられますから。屋根裏にも二、三本山や川で拾ったものがあります。自分なりに楽しんでるのです」



小林さんは笑みを浮かべた。

# お知らせ

### 母子センター案内

- 1月21日 安産教室
- 1月25日 妊婦相談・産後検診
- 2月6日 1歳6か月児検診 (57年6月～57年9月生)
- 2月8日 乳児検診 (58年1月、8月、10月生)
- 2月13日 妊婦相談・産後検診 (いずれも午後1時から)

## 無料休憩室

御陣荘に

津南町にある総合福祉センター御陣荘では、二階に無料休憩室を設置しました。テーブルといすを配置してありますので、自由にご利用のうえ、おくつろぎください。

御陣荘は消防法による「マーク」の交付を受けていますので、安心してご利用いただけます。

(十日町地域広域事務組合から)

十日町高校定時制で

## 生徒募集

●募集定員 普通科第一学年四十人

●願書受付期間 三月十六日まで  
●出願手続 入学願書、受検票、

調査書、入学考査料(三百五十円の県収入証紙)を在学(出身)中学校長を経て、十日町高等学校長へ提出

●検査教科 「国語」「社会」「数学」「理科」「英語」の五教科  
※詳しくは、十日町高等学校定時制(☎52-3575)へ問い合わせてください。

## 停電のお知らせ

- 1月19日(木) / 午前9時から午後1時まで、原田・根深。
- 1月24日(火) / 午前9時30分から午後1時まで、木島の一部・高原田・伊友・上野の一部・下平新田。

## 転作配分面積

59年度は  
109.9ヘクタール

### 川西町への配分

( ) 内は58年度

- ◎配分数量
- ①転作等目標面積
    - (1)第3期基本目標面積 110.5 ha
    - (2)59年度転作等目標面積 109.9 ha (109.7 ha)
    - うち転作等面積 99.6 ha (109.7 ha)
    - 他用途利用米面積 10.3 ha
  - ②事前売渡限度数量
    - (1)59年産米事前売渡申込限度数量 62,900俵 (62,322俵)
    - 内訳うち 59,557俵 (58,912俵)
    - もち 3,343俵 (3,410俵)
    - (2)他用途利用米生産予定数量 808俵

※町では、2月上旬ごろまでに部落ごとの配分を行う予定です。

### 第三期対策の大綱

水田利用再編

このたび、水田利用再編第三期対策の大綱を受け、新潟県知事から転作等第二期基本目標面積、それに昭和五十九年度転作等目標面積と事前売渡限度数量の配分内示がありました。

五十九年度から第二期対策がスタートするに当たり、転作の定着化のいっそうの促進、他用途利用米の導入など、制度の見直しが行われました。また、転作等目標面積につきましても、全国的な四年連続の不作、備蓄米の減少などを勘案の上、第二期基本目標面積より七万七千ヘクタール少ない六十万ヘクタールを第二期基本目標に設定しました。

川西町への配分は表のとおりです。

- ①対策趣旨
  - (1)所要の調整面積を確実に達成しつつ、転作の定着化を促進
  - (2)長期的視点の下、地域農業の将来方向に沿って地域の創意とくふうを生かす
  - (3)転作物物については、需給動向と地域の実態に即した作付誘導
  - (4)水田の有効利用を図る等の観点から、他用途利用米の生産導入
- ②期間
  - 昭和五十九年度から六十一年度までの三年間
- ③転作等目標面積
  - (1)六十万ヘクタール(原則とし期中固定とする)
- ④奨励補助金
  - (1)基本額 一律十アール当たり八千円引き下げるが、永年性作物については据え置き、など
  - (2)加算制度 転作定着化の促進のため、現行諸制度の見直しと転作定着化推進加算の新設

### 59年度 農業標準賃金

農業委員会では、このたび、昭和五十九年度川西町農業標準賃金を決めました。

男子 一日 五、五〇〇円  
女子 一日 四、八〇〇円

実施期日は四月一日からです。

これは、あくまでも標準賃金です。地区の実情や作業の内容などにより、頼む人、頼まれる人がお互いに納得できる方向で対応できるものとします。



次の善意が寄せられました。

◆一般寄付金

※大久保義信さん(野口) から五十五万九千円

◆社会福祉協議会へ

※詩吟会(代表・南雲藤平さん) から二万五千元

※根津石三さん(上野) から三万円

※内山重義さん(新町新田) から三万円

※柄沢悌一さん(沖立) から三万円

◆広報発行の一助にと

※東京・豊島区にお住いの小林荘平さんから一万円

民俗資料

●羽鳥仁平さん(伊友) から、足踏脱穀機、ワタ切り、ツヅミ、

横槌、蚤棚、箕、コタツ掛け

●上村正平さん(元町) から、俵編み、鉄釜、篋編み、柏子木、ジユウノウ、フクベ、ほか数点

●小海博さん(神社町) から、箱枕

●須藤トクさん(原田) から、開襟脚半

●星名四郎さん(上野) から、タバコ盆、ドビン、大皿、鉢、自在カギ、火バシ、角樽、ほか数点

●星名美信さん(学校町) から、藍ガメ、ワラダツ、カマス、シビン、ツケ木、麻袋、ほか数点

●金子啓介さん(岩瀬) から、磨石

●富井相四郎さん(上野) から、白、夜着

●羽鳥敬一さん(伊友) から、カッター

●庭野俊夫さん(十日町市) から、奉納額

●小林平一郎さん(中仙田) から、薬袋

●渡辺武久さん(鶴吉) から、モチ台、イップリ、オサ、ハツパキ、ワラジ、ヤバサミ、モチジヤクシ

●白井敏夫さん(寺尾) から、ドビン、柱時計、手桶、矢立、馬鈴、祝儀樽、イリ鍋、吸入器、絵紙、仏器、雪下駄、末広、ほか多数

新しい囃託員

..... ①

(敬称略)

【千手地区】

○中島町・高橋英雄、○山野田・田中与三郎、○発電所通西・沢潟徳次郎、○発電所通東・小川勲、○永久公舎・入沢忠義、○柴町・高野好美、○県営住宅・目黒道昭、○朝日町・馬場繁信、○四郎兼・喜田善一、○東善寺・高橋孝一、○上町・清水京平、○中央町・南雲田鶴、○田中町・高橋寅吉、○神社町・高橋定一郎、○学校町・柳信一、○中屋敷・谷井洋子、○寺尾・清水元治、○木島・清水正、○沖立・保坂次夫、○伊友・貴田杉松、○高原田・須藤キミ、○坪山・高橋力夫、○霜条・蔵品德四郎、○鶴吉・田村福平

【上野地区】

○上野・尾名アイ、○新町新田・内山重義、○三領・水品正一郎

【橋地区】

○木落・山家清作、○寺ヶ崎・山崎武治、○塩辛・藤巻孝吉、○仁田・須藤修、○野口・野沢正夫、○原田・丸山一徳、○根深・丸山重一、○下原・田中義勝

町内さんぽ



「おいしい朝食でした……」

ようこそ「松葉荘」へ  
青い目のお客さん

先月十八日は、総選挙の投票日だったり、かなりの雪が降ったりで、あわただしい一日でしたが、松葉荘では、東京から——という

より、アメリカとイギリスからのお客さんがくつろいでいました。

ご一行は、東京・渋谷の英語学校の先生三人と、そこで渡米のため勉強をしているビジネスマンの四人です。

松葉荘へは、生徒の高田さんが

が支配人と親せきだったためと、先の方が雪景色を見たいというのがマッチしての来訪です。

朝食中におじゃましましたところ、

アンドレア・ボンドさん(アメリカ・写真左)は「ごちそうおいしい、風呂はベスト。川端康成の雪国を読みました、新潟はグッド」。

アンドレオ・チャップリンさん(イギリス・写真中)は「松葉荘スゴイ、スバラシイ」。ブライアン・ハッチソンさん(イギリス・写真右)は「雪がスゴイです」とそれぞれ気さくに印象を述べてくれました。

十七日には千手観音と歴史民俗資料館を見学してきたとのことでした。

朝食を楽しく済ませ、お帰りになりましたが、「松葉荘は料理もおいしく、のんびりできました」と青い目のお客さんにも好評でした。

松葉荘はみんなの施設ですから、お気軽にご利用ください。

# くすくす

## 心の健康

### シリーズ①

私たちは、健康というと身体的な健康だけを考えがちですが、今回から四回シリーズで、精神的な健康(心の健康)を考えてみたいと思います。

「健康とは、身体的、精神的、社会的に完全な状態であって、ただ単に病気や虚弱でないというだけではない」と世界保健機関(WHO)で定義されているように、身体がどうぶなだけではほんとうの健康とはいえません。

ゆとりを失われがちな現代社会において、毎日ストレスに囲まれている私たちは、絶えず緊張感や対人関係のひずみにさらされ、そのため、心の健康も脅かされています。こんな状態から脱出するため、「ゆとり」を持った社会生活を送ることが心の健康を保つうえでたいせつなことは言うまでもありません。

このゆとりが、職場でも、家庭でも円満な人間関係を保ち、社会

生活の面でも支障なく過ごすことにつながります。

これとは逆に、あせったり、やけになったり、カラ元氣を出したりというような不安定な状態からは、ゆとりは見いだせません。自分自身の精神的弱点を自覚し、それをすなおに受け入れ、行動することがたいせつです。

### 心の健康を保つ八か条

- ①失敗にくよくよしない
- ②難時に正面からぶつかる
- ③余暇を楽しむ
- ④マイペースの生活を送る
- ⑤完全主義を捨てる
- ⑥話し合える相手を持つ
- ⑦十分な睡眠をとる
- ⑧趣味を持つ

以上のことを心がけながら、日常生活を送ってください。

また、乳幼児期から学童期、青年期、壮年期、老年期とそれぞれの時期に身体の健康を保つとともに、心の健康を保つことも非常にたいせつです。特に乳幼児期は「三つ子の魂百まで」といわれるように、この時期に心の健康が損なわれると、その後の成長や物の考え方に大きな影響を及ぼすことにもなります。

## 戸籍の窓から

### うぶ声—おすこやかに

- |       |    |    |     |
|-------|----|----|-----|
| 増田 敬介 | 裕一 | 長男 | 室島  |
| 太田 勝義 | 茂治 | 長男 | 木島  |
| 小林真理子 | 勇  | 二女 | 中仙田 |
| 羽鳥 涉  | 清巳 | 長男 | 仁田  |
| 丸山 美恵 | 吉一 | 三女 | 原田  |
| 渡邊 勇太 | 重義 | 長男 | 仁田  |
| 長野 正志 | 清  | 一男 | 四郎兼 |

### たかさこ—円満に

- ◎新郎 柄澤 和久 沖立
- ◎新婦 長谷川雪子十日町市から
- ◎新郎 上村 修一 上野
- ◎新婦 小川まつい 上野から

### 昇天—こめい福を祈る

- |       |     |    |
|-------|-----|----|
| 丸山 貞一 | 中屋敷 | 五三 |
| 阿部 ミセ | 中島町 | 八二 |
| 小林政太郎 | 中仙田 | 八三 |
| 根津 カネ | 上野  | 八四 |

大久保奈緒 正義 長女 野口  
 蔵品 恵介 正俊 長男 霜 条



## かわにし 俳壇

### 太田白南風選

赤谷 登坂 酔月  
 節くれし掌に粒小さき秋茄子  
 雪嶺の鉄塔遙か虎落笛  
 電線を横なぶり吹き虎落笛  
 蘭汁会おみな交りて賑やかな  
 野口 野沢 寅生  
 人立てば燃え上りたる焚火かな  
 茎漬の酸味来りて日々温し  
 除雪車の出で来し仕事始めかな  
 新しき注連縄太き社かな  
 三領 水品 律

### 岩瀬 小川 益栄

打ち返す追羽子高し昼の月  
 葉牡丹の渦に霞の沈みけり  
 四温なる歩み初む子の赤き靴  
 灯を消して雪明りある蘭汁会  
 せり出して軒にかたむき大氷柱  
 野兔の跡朝日の雪にみだれつ、  
 工事夫の合羽にしぼし霞かな  
 着雪の電話ケーブル大たるみ  
 三領 高橋たかし  
 残留の孤児に師走の風厳し  
 辛を思ひて浸る柚子湯かな  
 趣味同じ人を思ひて賀状書く  
 するすると器用な手つき糸編む  
 中仙田 左木人  
 すつと寄り傘のべくれし時雨坂

## 心配ごと相談

- 1月18日……克雪センター
- 1月25日……総合センター
- 2月1日……上野連絡所
- 2月8日……橘出張所

12月の交通事故発生件数		計	
死者	2	(1)	24
重傷	3	(1)	27
軽傷	0	(0)	1
酒気帯び	0	(0)	2
酒気帯び	0	(1)	7

( )内は前年比較

### 選者近詠

雪山の凜然として明け初めし  
 雪山の重なりありし恵方かな  
 年迎ふ心に雪の新しき  
 オリオンに並ぶ大きな冬の星  
 降る雪に消雪パイプ水平ら  
 絶え間なく降る雪片の一つ舞ふ

根雪来て山容俄かに改まり  
 元町 上村 トミ

日の暮れて月のあかりの冬木立  
 息白く通字の子等元氣よく  
 赤谷 高橋チヨノ  
 遠き日に母のつくりし夜着温き  
 老の背をまるめ布団を作りをり